

第9回 武蔵野市図書館運営委員会の主な内容

日 時 平成20年9月25日(木) 午後6時30分～9時00分
場 所 中央図書館 3階視聴覚室
出席委員 大久保昭男 黒子恒夫 鈴木喜和子 日高正登 毛利和弘 山本真鳥
(敬称略)
傍聴者 1名

会議次第

1 前回会議要録の確認

第8回会議要録が了承された。

2 議題

武蔵野市立図書館のあり方について

「これからの図書館のあり方について(案)」の前回からの修正・変更点について、事務局より説明を行った。また、来年以降この提言を踏まえたうえで、市(図書館)として図書館計画を作っていく予定があることを報告した。

{話し合われた要旨は以下のとおり}

1. 武蔵野市立図書館の現状について

委員 市外登録者が42.2%もいることに驚いているところです。武蔵境駅前に武蔵野プレイス(仮称)ができれば、さらに市外利用が増えると思います。市民の税金を使っているのだから、もっと市民に向けた図書館であって欲しいと思うので、市民登録者を増やす方法を考えてはどうでしょうか。

事務局 これは市民登録者と市外登録者を対比した数字です。市民の登録率は図書館への利便性により地域差がありますが、町別で見ると一番高い吉祥寺北町の48.9%、一番低い桜堤でも30.8%の方が登録されています。これは3年以上利用がない方を除いた数字ですので、他市の図書館と比較しても決して市民の登録率が低いわけではありません。

委員 桜堤地区が低いということですが、今後西部図書館がなくなりプレイスに移転すると、さらに図書館が遠くなるため、登録率が伸びないのではないのでしょうか。西部図書館はこのまま存続させるべきだと思います。

事務局 今までは3館構想があり武蔵野プレイス(仮称)完成によりそれが達成されます。ただ、規模の大きな図書館が3館あればそれで良いのかといった議論を行い今後の方向性を定める必要はあると考え、「(9)各館の機能と役割」の施策提言の最後に簡単ですが記載いたしました。

委員 登録者数というのは図書館によって算出方法が違いますし、登録者

数と実際の利用者数にも差があり、目安にしかありません。ただ、現在の流れは自治体間で相互利用が出来る様にしていく方向にあると思います。

- 事務局 他市では市外登録者が10%程度です。当市の図書館は利用者数も多いことを考えると、市外登録者の割合の増加は運営費増に繋がります。確かに他自治体との連携は大切だと思いますが、市民の税金を投入していることを考えれば、他市の図書館と比較して市外登録者の割合が突出しているのはいかがなものかと感じています。
- 委員長 図書館サービスを充実させて市民の利用を増やしていく必要はあると思いますが、データを含めた記載内容はこのままとします。

2. 武蔵野市立図書館のあり方

- 委員 6行目「貸出重視型」とありますが、「閲覧・貸出重視型」とした方が良いと思います。
- 委員長 閲覧にはあまり力を入れていないのではないのでしょうか。大学図書館に比較し閲覧席の数が少ないと感じます。
- 委員 閲覧と貸出は常に一緒にあると思います。また、大学図書館では電子ジャーナルが普及し利用者が減っている現状もあります。
- 委員 この頁がこの提言の中で一番大切な部分だと思います。ただ館長のお考えは理解できるのですが、内容の重複が多く言葉の整理も必要だと思います。例えば1行目に「生涯学習を推進する」とありますが、文章としておかしいと思います。また、その後に生涯学習についての記載がないので何か書き足すか、逆にこの部分を消してはどうかと思います。
- 委員 「生涯学習」にはいろいろな意味が含まれますし、文章表現としてもおかしくないと思います。
- 委員 図書館は生涯学習施設なので、言葉として入れていると思います。
- 委員 重複部分はあると思いますが、この文章は日本的な論理展開で書かれているのだと思います。直線的な明確さを求めた西洋的論理展開ではないため、人によっては理解しづらく感じるのかと思います。
- 委員長 重複した部分を整理し初めの3段落をまとめ、全体を4段落にまとめましょう。

3. これからの図書館サービス

「(5) 学校図書室と図書館の連携とネットワークの構築」

- 委員長 図書館だけが動くのではなく、教育委員会全体を動かすような言葉に変更してはどうでしょうか。
- 事務局 教育委員会がすでに動き出している部分もあります。中学校図書室サポーターの在室時間を延長するために予算要求をする予定です。現在、各校からアンケートをとり、どこに問題があるのか、新たに必要な支援は何かを集約しているところです。その中で可能なところから改善を進めていきたいと考えています。

- 委員長 小中学校にパソコンは設置されているのですか。
- 事務局 学校ホームページを作るなど、インターネットに繋げたパソコンは設置されています。ですが学校によってはホームページの更新もままならないのが現実のようです。また、図書室のパソコンは貸出・図書整理用で、インターネットには繋がっていません。インターネットに繋げるためには、やはり予算措置も必要になってきます。
- 委員 インターネット環境の整備、ネットワーク化は学校教育の場でも必要です。ただ、ホームページを作ることとインターネットを使うことは別だと思います。
- 委員 現実には先生方が忙しく環境整備に携わる時間が取れないと思います。図書館側が動いて便利になる現実を見せたうえで、共通認識のもとに動き出さないと難しい面があると思います。
- 委員 兼任の先生では他の業務に追われてしまうなど、難しい面があるので専門の司書教諭をおくべきだと思います。
- 事務局 現在、兼任の司書教諭や図書担当の先生はいらっしゃいますが、図書室のみを担当するのは図書室サポーターになります。
- 事務局 図書室サポーターの業務内容は学校によって、また図書室サポーターの意識によっても異なるようです。まだまだ貸出と本の整理程度の学校もあれば、選書や本の紹介方法など様々な提案を持っているサポーターもいるようです。
- 委員 今後は学校図書室のネットワーク化を目指し、環境整備に力を入れて頂きたいと思います。

「(6) 他自治体図書館 / 大学図書館その他の期間との連携」

- 委員長 市内大学図書館の直接利用だけでなく、市外も含めた大学からの資料取寄せも可能ではないでしょうか。
- 委員 大学図書館では専門性の高い資料を所蔵していますので、公共図書館と蔵書構成の住み分けをしながら協力できればと考えています。しかし、実際には公共図書館からの紹介状はあまりありません。それと「大学の利益にも…」以下の部分は削除して良いと思います。
- 事務局 利用が少ない点は広報不足もあるかと思いますが、今以上に広報について考えます。
- 委員 本を特定して申し込む人はあまりないと思います。レファレンスの中で必要資料を検索し、紹介状発行へ繋げる必要があります。貸出カウンターで受け付けるというよりもレファレンスカウンターでの対応が必要になります。
- 委員 利用の低い要因の一つに、都立図書館・国会図書館にない場合のみ貸出可能という大学側の制約があると思います。
- 事務局 そういった制約がない大学もありますが、大学ごとに対応が違うため利用しにくい部分はあると思います。
- 委員 広報の方法として、レファレンスセミナーや図書館利用講座のなか

で紹介する方法もあります。また、ナクシスウェブキャット等はホームページでリンクさせることにより利用が増えるのではないのでしょうか。

委員 ある大学では、図書館が新しくなったことを新聞等で広報された後、研究目的ではなく、公共図書館のように気軽に滞在することが目的の利用者が増えてしまい戸惑いを感じたケースもあるそうです。大学図書館の利用については利用者側の意識も必要になると思います。

委員 大学図書館は研究資料を探している場合等、目的を持って利用して欲しいと思います。

「(9) 各館の機能と役割」

委員 地域で活躍する団体の資料収集は、注意して見つけないと判らないため、実はとても難しいのです。「郷土資料等」というより「地域の資料」と表現し呼びかけながら集めていく必要があります。

「(10) 図書館の管理運営」

委員 武蔵野プレイス(仮称)では指定管理者の選び方に難しさがあると感じています。

事務局 武蔵野プレイス(仮称)は完全な民間の事業所に任せるのではなく、市の財政援助出資団体である事業団を指定管理者に予定しておりますので、市の職員も派遣されることになると思います。

委員 武蔵野プレイス(仮称)は複合施設ですが、この中の一部を市の条例で図書館として定めることにより、市立図書館の分館としての位置付けを持たせるということだと思います。

「(14) 評価」

委員 今後の課題として、図書館法の改正に伴い図書館評価が明記されました。目に見えないサービスをどう指標化するか、質的な部分の尺度はどうするか等の評価指標について研究する必要があります。

事務局 国が目安は作ると言っていますが、数値化の難しいものがたくさんありますので、今後検討していきます。

委員 今後の課題だと思いますが、今回のあり方へ入れるというよりは、次期運営委員会へ引継ぎ研究する事項だと思います。

4 . はじめに、

委員 どうしてこういう項目を立てたのか、説明が必要かと思います。委員長名を入れることや、「私は」という表現にも疑問を感じます。言葉の修正は事務局が行うにしてももっと簡潔に短くしてはと思います。

委員長 この部分の趣旨は白紙であったため、本の利用が少なくなっている現状や危機感、この報告書の感想、長い時間検討したのに記載の少ない武蔵野プレイスのこと等をいれてみました。

委員 まず「委員長あいさつ」を載せ、「提言の趣旨(はじめに)」、「目次」の順にしてはどうでしょうか。「委員長あいさつ」「提言の趣旨」は、両方合わせて1頁程度が良いと思います。

委員 短くする場合でも、危機感等の委員長の考えはしっかり出して頂きたいと思います。

・次回は10月23日(木)を予定。